

外国語活動学習指導案

指導者 高延 恵

馬河 裕志

ALT Brendon Lay Kevin

- 1 日時 平成30年11月26日(月) 5校時
- 2 学年 第6学年1組(10名) 自閉症・情緒障害特別支援学級(みどり学級)(1名)
- 3 単元名 I like my town. 自分たちの町・地域 (We Can! 2 Unit 4)
- 4 単元について

○ 本単元は、ALT の友達に神石高原町を紹介するミニポスターを作りプレゼントする活動をゴールとして設定したものである。

扱う主な英語表現は、“We [have / don’t have] (a gym).” “We can (play basketball).” “I want a [library / park].” “Jinsekikogen is nice.”といったフレーズや建物や施設、自然等を表す言葉である。

ALT の友達に町を紹介するためには、社会科や総合的な学習の時間等他教科の学習と連携を図り、神石高原町を知りその良さや課題を知ること、そして、それを英語で発信することが必要である。地域の一員として自分の住む地域を知り愛する気持ちをもって他国の人に神石高原町を紹介する活動は、町の求めている「グローバルな人材」を育てることにつながると考える。

また、目の前にいない外国の人に町について紹介するために、絵や写真を添えて英語でパンフレットを作成することにより、書く活動に必然性が生まれると考える。相手を意識してわかりやすく伝えるためにはどうすればよいかこの単元で学ぶことができると考える。

○ 本学級の児童は、1年生から週1時間外国語活動を経験してきている。10月に行ったアンケート調査では、全員の児童が「外国語活動の授業に進んで参加している」「英語の勉強は将来役に立つ」と答えているように、外国語活動に対する関心意欲は高い。

「英語でやり取りをする時には相手の言ったことにならずいたり、英語で返事をしたりしている」と答えた児童は80%であり、授業中のやり取りの様子を見ている、苦手意識をもっていることがうかがえる。また、話の内容が分からなくても、そのままにしていることがある。書くことに関しては、きまりを意識しながら書こうとしているが、単語を並べる順番を自分なりに考えながら書くことについては指導ができていない。また、「英語の授業以外で英語を使ってみたい」「もっと英語を学びたい」と思っていない児童が少数であるが固定化している。目的意識をもたせモチベーションを高めることができるような単元構成や活動を仕組んでいきたい。

○ 指導に当たっては、単元を通しての言語活動として、ALT の友達に神石高原町をミニポスターで紹介する活動を設定する。単元のはじめに明確なゴールイメージをもたせ、書く必然性を意識させるとともに学習意欲を持続させていく。

第1時では神石高原町について総合的な学習の時間に調べたことや国語のパンフレット作りでまとめた内容などを基に、何を伝えたいか話し合う。特にテキスト「We can! 2」に載っている町と自分たちの住む地域では実在する施設等に違いがある。話し合いにより、その違いを明確にさせながら神石高原町の良さを発信したいという思いを高めていきたい。新しい表現に出会う際には、We can! 2の Let’s Listen や ALT と HRT との Small talk を聞かせ、その意味に気付か

せるようにする。特に神石高原に関する新しい表現が多く扱われることになるが、自分たちが伝えたい内容として考えたことであり、今後、将来にわたり故郷を語る上で使用するであろう表現でもあるため、ピクチャーカードを使い何度も音声で慣れ親しませ使用する。

書く指導に当たっては、やり取り等で十分に音声に慣れ親しませてから行う。まとまりのある文章を書くのは初めてである。文頭は大文字で書くことや、語順、語と語のスペース、ピリオド等について丁寧に指導していく。

そして、第5時では、ポスターを仕上げ児童同士で交流する。互いのポスターを読み合い、わかりにくいところ、よいところなどをアドバイスし合う場を設け改善をしていく。この単元全体を通して、書くときの決まりを理解させるとともに、書く活動も相手意識をもちわかりやすく表現することの大切さを感じ取らせたい。

5 単元目標

【コ】他者に配慮しながら、地域にどのようなものがあるか、神石高原町をどう思っているかなど伝えようとする。

【慣】神石高原町について、よさや願いなど自分の考えや気持ちを伝え合ったりする表現に慣れ親しむ。

神石高原町について、簡単な語句や基本的な表現を用いてやりとりした表現を例文を参考に書くことに慣れ親しむ。

【気】英文の書き方の決まりに気づくことができる。

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
①相手意識をもち、進んで神石高原町について自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	①神石高原町について、自分の考えや気持ちを伝える表現に慣れ親しんでいる。 ②文字を書き写すことに慣れ親しんでいる。	①英文の書き方の決まりに気付いている。

7 単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	ALT の友達に神石高原町を紹介するミニポスターを作る。
目指す発話例	A: Jinsekikogen is nice. B: Why? A: We have a lake. We can ride a boat. B: That's nice.

8 主な表現と語彙（下線は新出表現、語彙）

主な表現	主な語彙
<u>Jinsekikogen is nice.</u> <u>Why?</u>	施設など (park, shop, library, convenience store, hot spring) 自然 (nature, lake, mountain, river, forest,

<p><u>We have a lake. We can ride a boat.</u> <u>That's nice.</u> How about you?</p>	<p>waterfall, cherry blossoms) 状態や気持ちを表す語 (nice, beautiful, great, fantastic, delicious) 出来ること (fly an airplane, take a bath, sit and eat, see Onbashi ,read books , see cherry blossoms , play in the water , eat beef, ride a boat , see beautiful nature , do forest therapy</p>
--	---

9 単元計画 (5時間)

時	目標 (◇), 主なやりとり等	評価規準・評価方法
1	<p>◇ 単元のゴールをつかむとともに、神石高原町にあるものとその良さについて話し合う。 ◎単元終末の活動を知る。 Emmeli の友達に自分たちの住む町をパンフレットで紹介するという単元のゴールをつかむ。 ○Small talk ・指導者の町にあるものとそのよさについてやり取りする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Fukuyama is nice. B: Why? A: We have many roses. We can see beautiful roses. B: That's nice.</p> </div> <p>○【Let's Listen 1】「音声を聞き、その内容に合う町を選ぶ。」 ・No. 1 と No. 2 の音声を聞いて、6つの町のイラストの中から内容に合う町のイラストを選ぶ。 ○神石高原町の紹介した場所について考える。 ○町の状態や様子を表す言葉を知る。</p>	<p>【コ①】 行動観察・振り返りカード分析</p>
2	<p>◇ 町にある, 無い, それが必要という表現に気付き, それを書き写す。 ◇ 神石高原町にある施設や自然の英語表現について知る。 ○【Let's Listen 2】「音声を聞き, 各々の町にある施設を選んで○を付ける。」 ○ Let's Read and Write 「町にないものについて書こう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Jinsekikogen is nice. B: Why? A: We have a park. We don't have an aquarium. (施設・自然) park, shop, library, convenience store, hot spring, lake, mountain, river, forest, waterfall, hill 等</p> </div>	<p>【慣②】 行動観察・振り返りカード分析</p>
3	<p>◇ 神石高原町で出来ることの英語表現を知り慣れ親しむ。 ○カードオーダーゲームをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Jinsekikogen is nice. We have a park. We don't have an aquarium. (出来ることの表現) fly an airplane, take a bath, sit and eat, see Onbashi , read books , see cherry blossoms , play in the water , eat beef, ride a boat , see beautiful nature , do forest therapy</p> </div>	<p>【慣①】 行動観察・振り返りカード分析</p>

4 本 時	<p>◇神石高原町で出来ることの伝え方をつかみ、やり取りした内容を文章に書き写す。</p> <p>○「出来ること」の復習をする。 ○「出来ること」をどうやって伝えるとよいかつかむ。 Small talk と 【Let's Listen 1】「二人の会話から2つの町にある施設やそのよさを聞き取る。」を聞き、伝える方法をつかむ。 ○ワードオーダーゲームをし、語順を意識する。 ○選んだ場所で出来ることを英語で各自表現する。 ○やり取りした後、ワードリストを基に書き写す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>We have a park. We can see Onbashi. (出来ることの表現) fly an airplane, take a bath, sit and eat, see Onbashi , read books , see cherry blossoms , play in the water , eat beef, ride a boat , see beautiful nature , do forest therapy</p> </div>	【慣①】 行動観察・振り返りカード分析
5	<p>◇他者に配慮しながらポスターを作成し学級の中で交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Jinsekikogen is nice. We have a park. We can see Onbashi.</p> </div> <p>○単元全体の振り返りをする。</p>	【コ①】 行動観察・振り返りカード分析 【慣②】 行動観察・振り返りカード分析

10 本時の計画

(1) 目標

神石高原町で出来ることの伝え方をつかみ、やり取りした内容を文章に書き写す。

【外国語への慣れ親しみ】

(2) 評価規準

神石高原町について簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りした内容を、例文を参考に書き写している。

(3) 準備物

電子黒板 (we can2 unit4) ・ピクチャーカード・ワードリスト・ワークシート・気付き記入カード・振り返りシート

(4) 展開 (本時 4 / 5)

学習活動	指導上の留意事項と使用英語例		評価規準・評価方法
	T1(Konobe) T2(Umakawa)	T3 (ALT)	
Greetings	○英語で挨拶を行い、外国語授業の始まりの雰囲気を作る。		

<p>Today's goal 課題を把握する。</p> <p>Review Let's talk 神石高原町の様子、ある施設や自然等について指導者の話を聞いた後、ペアでやり取りをする。</p> <p>・「神石高原町でできること」の英語表現を復習する。 ①チャチャチャ ②ポイントゲーム ③マジックペンゲーム</p>	<p>○Emmeli 先生の友達にポスターで町の良さを伝えることを確認した上で今日のめあてを持たせる。(T1)</p> <p>「神石高原町でできること」の伝え方を知り、自分の伝えたいことを書こう。</p> <p>○前時までに行ったやり取りを行うことで表現を練習するとともに定着を図るようにする。 ○表情やジェスチャーをつけたり反応したりしながら、相手意識をもって話したり聞いたりしている児童を評価する。(T1・2)</p> <p>fly an airplane, take a bath, sit and eat, see Onbashi , read books , see cherry blossoms , play in the water</p>	<p>○T1 とやり取りをしてみせる。</p> <p>Jinsekikogen is nice. We have a convenience store.</p>	
<p>Activities ・「神石高原町でできること」をどう伝えたらよいか聞いてつかむ。 ① 3人の small talk を聞く。 ② Let's listen3 を聞く。 ③ 気づきを発表する。</p>	<p>○気づきカードを配布する。(T2) ○Small talk を行う。(T1・2)</p> <p>Hello. I live in Shinichi town. Shinichi is nice. We have a big river. We can catch zarigani. How about you?</p> <p>○P29 Let's listen3 を流す。(T2)</p>	<p>○Small talk を行う。</p> <p>○児童が気付いていないときは発音を再度聞かせる。</p>	
<p>Let's talk. ・自分の伝えたいことを話したり聞いたりする。</p>	<p>○3人以上とやり取りすることを伝える。(T1) ○表現の仕方がわからない児童がいれば教える。(T1・2)</p>	<p>○表現を繰り返し聞かせたり言わせたりする。 ○表現の仕方がわからない児童がいれば教える。</p>	

<p>Let's wright.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワードオーダーゲームをする。 ・例文を参考にワードリストから言葉を選んで書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カードを配布する。 (T1・2) ○気付きを出しながら書くきまりを確認する。 ○文字の高さや形を正確に捉えて書こうとしているか見取り個に応じて支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文字の高さや形を正確に捉えて書こうとしているか見取り個に応じて支援する。 	<p>神石高原町について簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りした内容を、例文を参考に書き写している。(行動観察・記述・振り返りカード)</p>
<p>Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返りカードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習を振り返らせ、ねらいに照らして児童の評価をする。 		
<p>Greetings</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○英語で挨拶を行う。 		

1 1 板書計画

Emmeli 先生の友達に神石高原町を紹介しよう。

Start	神石高原町を紹介しよう！				Goal
スタート	何を紹介するか計画を立てる。状態を表す言葉を知る。	「これがあるよ」という表現を知り英語で書く。	神石高原町にある施設や自然の英語表現について知る。	「こんなことが出来るよ」という表現を知り英語で書く。	ミニポスターを作り神石高原町を紹介をする。

Today's goal 「神石高原町でできること」の伝え方を知り、自分の伝えたいことを書こう。

We can take a bath.

文頭は大文字
一語はまとめて
語と語の間は
ピリオド
語順に気を付けて

出来る事ピクチャーカード

施設等ピクチャーカード